

新発田税務署長賞

税の大切な役割

新発田市立 七葉中学校 3年 居 城 埜 乃 さん

皆さんは税金の使い道は何かと聞かれて何か思いつきますか？私はあまり思いつきませんでした。そこで、税金の使い道を調べてみました。その中で気になったものが三つありました。

一つ目は、教育です。国民全てが平等に教育を受けられるように、教育費に多くの税金が使われているそうです。私たちが学校で使っている教科書や机、椅子、校舎の建設に税金が使われています。そして、中学生一人当たりの年間教育費はおよそ 100 万円だそうです。私たちが学校で楽しく生活できているのは親に負担してもらっているのは知っていたけれど、それ以上の大きな規模で、国民の納税のおかげで成り立っていると分かりました。

二つ目は、除雪です。私が住む新潟県は冬になると膝より上くらいまで雪が積もります。道路も雪がとて多く、車の走行も難しく、よく渋滞が起きます。特に雪が多い日は朝早くから除雪機で道路の除雪をしてくれます。おかげで車も走りやすくなります。そんな除雪も税金によって行われているということを初めて知りました。一年間で除雪に使われる税金はおよそ 133 億円だそうです。雪国ならではの税金なので、除雪をしてくれる人や納税してくれている新潟の大人の人たちに感謝しなければいけないなと思いました。

三つ目は、災害復興です。2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災で復興特別所得税がおよそ 5,305 億円使われました。復興特別所得税は、がれきの撤去、住宅や店舗の再建、災害に強いまちづくりやまちなみの再生に多く使われました。国民が払っている税金が被災者のために使われていて、人と人との助け合いを感じました。私も早く大人になって復興特別所得税を払い、被災者の力になりたいと思いました。

そんな私たちの生活を支えてくれている税金ですが、近年の少子高齢化社会によって問題が引き起こされています。高齢者の急増に伴い、年金、医療、介護などの社会保障が増加し、それを負担する若い働き手が減り、国民一人ひとりの負担が増えていきます。そのため、消費税の引き上げが検討されています。消費税を引き上げることで、社会保障の安定した財源を得られることができます。少子高齢化による問題を将来の世代に長引かせないためには、今は消費税を引き上げることが必要だなと思いました。

税の作文の制作を通して、税金は私たちが私たちの暮らしのために払っているお金であり、人と人との助け合えるお金だということを学びました。少子高齢化もあるので、若い人は税への関心や知識をもっと持つべきだなと思います。自分たちの時代は自分たちで守っていけるように。